



中島根

令和5年6月30日

足立区立中島根小学校

校長 細川 靖雄

令和5年度7月号

家族に渡していきたい言葉

校長 細川 靖雄

『僕は事あるごとに「あおいくま」を思い出し、心の支えとするようになりました。』

この言葉を、ある本で目にしました。今でも、芸能界で活躍されている方の言葉です。母の声を振り切るように上京したが、なかなか世に出られない下積み時代の際、思い出し、心の支えとしていたそうです。

「あおいくま」は、頭文字をつなげた言葉です。

あせるな

おこるな

いばるな

くさるな

まけるな

この言葉のものは、家の柱に、母の字で書かれた、黄ばんだ紙が貼られていた言葉だったそうです。そして、この言葉だけは覚えておきなさい、これを覚えておけば大丈夫だからと、子どものころに教えられていたそうです。

私も思い出しました。大学生として上京し、慣れない一人暮らしや学生生活など、思うようにいかない時間が続いていくような、不安だけを覚えていたころがありました。

そんな時には、親の言葉を思い出していました。その一つが、「てごう しなさい」です。瀬戸内地方の方言です。てごうとは、手伝う、助け合うという意味で使います。相手の人を手伝いなさい、相手の人を助けなさい、相手の人を先に考えて行動しなさい、ということとして、私は捉えていました。

この言葉を実践して、新しい環境を少しずつ自分なりに変えていくことができました。お蔭様で、当時の友は、今もって連絡を取り合う仲です。

日々、楽しいと思えることばかりではありません。むしろ自分の思い通りにいかないことの方に気持ちが向かってしまいがちです。

学校では、子供たちが独り立ちできるように繰り返し言葉を掛けていきます。例えば、あいさつをしましょう、手助けをしてもらった時にはありがとうを伝えましょう、相手を困らせた時にはごめんなさいを伝えましょう、等々、基本的なことを身に付くまで根気強く声を掛けていきます。

ご家庭でも、力強く生き抜く力、頑張っ逆境を乗り越える力を育む言葉を掛けてくださると、一生の心のよりどころとなると思います。